

現代中国における王昭君劇

阿部 泰記

一 序

王昭君劇は元の馬致遠『破幽夢孤雁漢宮秋』雑劇から始まり、明の無名氏『王昭君出塞和戎記』伝奇、清の無名氏『青塚記』伝奇、雪樵主人の小説『双鳳奇縁伝』二十卷八十回（1809年）がそれを継承し発展させた。伝統劇には劇全体を上演する「本戯」と、一部を上演する「折子戯」がある。現代に至って曹禺の話劇『王昭君』五幕（1979年）をもとに新編劇が創作された。伝統劇は反和親を主旨として、王昭君が川に身を投げて自害する悲劇的結末を演出しており、新編劇は和親を主旨として、王昭君が単于に嫁いで戦乱を収める喜劇的な結末を演出しているが、現代でも伝統劇は上演されており、新編劇の中にも伝統劇を踏襲するものもある。たとえば曹禺の話劇『王昭君』では画師毛延寿の収賄、呼韓邪の子復株累単于との再婚が述べられていないが、新編劇の中にはそれらを述べるものもある。今日、文化遺産を保護する風潮が強くなり、新旧の演劇作品がネット上でも視聴できるようになった。そこで本論文ではそれらの演劇作品を活用して、新旧の王昭君劇の諸相について考察してみたい。

二 折子戯

折子戯は主として清の伝奇『青塚記』の一折「送昭」（昭君を見送る）を上演する。登場人物は王昭君とそれを見送る王龍、馬童である。この場面では旦（王昭君）は軟弱な漢王を批判して、「梧桐雨」曲の歌詞「別離の涙は漣漣と流れ、怎でか漢宮・帝輦を捨つるに忍びん。端無くも反賊の朝権を弄ぶに、漢の劉王かくも儒軟なる。」（別離涙漣。怎忍捨漢宮帝輦。無端反賊弄朝権。漢劉王忒熬儒軟。）と歌う。また出塞の途上、王昭君と馬童が暴れ馬を制御する場面も見せ場である。なお曹禺の話劇『王昭君』五幕（1979年）が発表されて以後、和親を称賛する趣向を取り入れた作品も出品されている。

1. 崑曲

明代中期に南方の崑山で誕生。曲笛・三弦などを伴奏楽器とし歌唱と舞踏を結合させた抒情性豊かな作品を上演してきたが、十九世紀中期に京劇が興って以後は衰退したため、現代に至ってその保存復興に力が注がれている。

（1）北崑『青塚記』「昭君出塞」（1980年代）

劇場版。台湾国立伝統芸術中心「伝統戯曲資料保存及整理計画」により1980年代の崑劇名家の上演を収録。蘇州崑劇伝習所と台湾中央大学の合作で、伝字輩（第一期芸人）・永嘉崑・北崑の老芸人の貴重な映像を編集してDVDを作成し、崑劇従事者と愛好者の研究参考に供する。第十四集は北崑芸人の馬祥麟（1913年-1994年）『青塚記』「昭君出塞」を収録。人物（出演者）：昭君（馬祥麟）、王龍（韓建成）、馬夫（孫海蛟）。馬祥麟が扮装せず模範上演し、続いて俳優が扮装して上演する。



馬祥麟の模範上演



俳優の上演

(2) 湘崑『青冢記』「昭君出塞」(年代不詳)

劇場版。人物(出演者):王昭君(文菊林)、王龍(唐湘雄)、馬童。湘崑は湖南崑曲の略称。蘇崑・北崑と源流を同じくする。文菊林は馬祥麟の高弟。



(3) 北崑『青冢記』「昭君出塞」(1988年)

劇場版。北方崑曲劇院、1988年10月上演。時代新媒体出版社・安徽文芸出版社「崑曲芸術大典・音像集成・録像選彙」収録。人物(出演者):王昭君(張毓雯)、王龍(王宝忠)、馬童(劉国慶)。張毓雯(1945年出生)は馬祥麟の高弟。



(4) 北崑『青冢記』「昭君出塞」(2012年)

劇場版。馬祥麟の代表作、張毓雯の伝授。北方崑曲劇院、2012年1月7日上演。人物(出演者):王昭君(宇文若龍)、王龍(張歆)、馬童(張暖)。宇文若龍是北京崑曲研習社で伝統劇目を学んでいる。



(5) 北崑『青冢記』「昭君出塞」(2018年)

劇場版。海外崑曲社。人物(出演者):王昭君(史潔華、谷好好)、王龍(蔡青霖、侯哲)、馬夫(婁雲嘯)、朝官、宮女、堂扇、青袍、車夫。海外崑曲社は1988年に崑曲愛好者・俳優等によってニューヨークに設立され、公演・伝習・研究出版等の活動を行っている。史潔華は上海市戯曲学校第二屆昆曲班卒業生。1994年、ニューヨークで台北劇場の崑劇之美専場において『昭君出塞』を上演。1997年にワシントンで中国戯曲集錦に参加し、『昭君出塞』を上演。1990年から海外崑曲社で教鞭を執る。谷好好は1973年出生。2021年、上海市戯曲家協会主席。『昭君出塞』は代表作品。



(6) 北崑『青冢記』「昭君出塞」(2021年)

劇場版。第八屆中国崑劇芸術節、北方崑曲劇院經典折子戲の展示上演。人物(出演者):王昭君(張媛媛)、王龍(張歆)、馬僮(楊迪)。張媛媛は2004年に北方崑曲劇院に入学。2007年に北方崑曲劇院建院五十周年記念で『青冢記』「昭君出塞」を長安大戲院で上演している。



2. 京劇

京劇は清乾隆五十五年(1790年)に四大徽班が北京入りし、湖北省の漢劇の芸人と合流して、崑曲・秦腔などを吸収して形成された。旦(女形)には梅(梅蘭芳)派、尚(尚小雲)派、程(程硯秋)派、荀(荀慧生)派があり、四大名旦と評された。

(1) 『昭君出塞』(1962年)

映画版。『尚小雲舞台芸術』。監督:桑夫。撮影制作:西安電影制片廠。人物(出演者):王昭君(尚小雲)、王龍(肖盛萱)、馬童(尚長春)。協力出演:中国京劇院・尚小雲劇団・佳木斯京劇団・山東省京劇団・石家莊京劇団・陝西省京劇院・陝西省京劇学校。尚小雲(1900年-1976年)は1950年に尚小雲劇団を結成し、1962年に映画『尚小雲舞台芸術』の主演を担当した。1964年に陝西省京劇院院長に任命された。尚派の出塞劇は崑曲の伝統的上演を基礎に、「揮鞭」「蹙馬」「掬翎」「搓步」などの所作を



創造し、特別の風格を具えている。

(2) 『昭君出塞』(1991年)

劇場版。1991年録画制作。人物(出演者):王昭君(孫明珠)、王龍、馬童。孫明珠は尚派の名旦で、1944年出生。陝西京劇院俳優。陝西戲曲学校に在学中、尚小雲に指導を受ける。王昭君と馬童の所作が見せ場。



(3) 『昭君出塞』選場(2016年)

劇場版。出演:上海京劇院。上海天蟾逸夫舞台。CCTV空中劇院、2016年7月4日録画。舞台監督:李笑陽。人物(出演者):王昭君(史依弘)、王龍(虞偉)、馬夫(魯薦忠)。史依弘(1972年出生)は上海京劇院の梅派大青衣で、後に上海京劇学校で京劇の武旦を習得した。



3. 祁劇

祁劇は明代中葉に湖南省祁陽県に発祥した地方劇。高腔・崑腔・彈腔の別がある。旦(女形)は窄音を用いて秀媚さを表現する。現代に至って隆盛し、1956年には湖南省で29の祁劇社団が出現した。1980年には湖南省文化局が全省に祁劇の教学上演を組織し、24の優秀劇目を録画した。

(1) 『昭君出塞』(1955年)

劇場版。1955年、湖南第二期戲曲觀摩大会で『昭君出塞』は劇本一等獎、演出一等獎を獲得し、主演の謝美仙は一等女優獎を獲得し、湖南省内の他の劇種にも移植された。出演:湖南省祁劇伝統劇目教学会。人物(出演者):王昭君(謝美仙)、劉文龍(何少連)、馬童(王求喜)。



(2) 『昭君出塞』二場(1959年)

脚本。中国戲曲研究院編『戲曲選』、湖南省邵陽祁劇団整理『昭君出塞』(北京:中国戲曲出版社、1959年12月出版)。林幹主編『昭君文化叢書』第三册「歴代昭君文学作品集」(呼和浩特:内蒙古大学

出版社、2004年3月)、第377-384頁所収。人物：王昭君、王龍、馬童、軍士、宮娥。

第一場

四龙套上，大笛、六么令，王龙上。

王 龙 (念) 秋風蕭索出長安，只為烽火起邊關，
朝臣枉食千鍾粟，却教紅粉去和番。

下官，新科狀元劉文龍，只因北番進犯，漢王懦弱，听
信奸奸之言，詔諭昭君娘娘前去和番，聖旨傳下，將我
更名王龍，封為國舅，護送前行。人來，打道長亭。

(圓場，六么令后折，下馬) 娘娘御駕到了，報爺知道。

(3) 『昭君出塞』(2019年)

劇場版。出演：湖南省祁劇保護傳承中心。人物(出演者)：王昭君(肖笑波)、劉文龍(戴馭倫)、馬童(陳歆)。肖笑波は1983年出生、祁劇俳優の花中美に師事した。邵陽市非物質文化遺産保護傳承研究所所長。



4. 桂劇

桂劇は明末清初に崑腔が広西省に伝播した後、高腔と弋陽腔も伝播して、それらが相互に融合して声調が優美で抑揚が趣ある桂劇を生み出した。1912年に桂劇女科班の福珍園が創設されて多くの女優が育成された。その後、男女科班は30箇所余りに達している。声腔には弾腔、高腔、崑腔、吹腔、唱腔がある。

(1) 『昭君出塞』(2012年)

劇場版。桂劇大舞台。制作：全国文化信息資源共享工程広西分中心。人物(出演者)：王昭君(周子喻)、王龍(章勝強)、馬童(唐華)。



5. 粵劇

粵劇は明清の頃広東に伝わった海塩腔、弋陽腔、崑山腔、椰子腔などを基礎に、珠江三角洲の民間音楽を吸収して形成された。後に広西、香港、澳門、台湾、東南アジアやアメリカなどの華僑の居住

する地域で上演されている。1953年に広州粵劇団結成。

(1) 『昭君出塞』 (1963年)

粵劇音楽総譜。出演：広東粵劇院。編劇：馬師曾。主演：紅線女。記譜：殷滿桃・文卓凡・譚建。編印：中国音楽家協会広東分会・中国戯劇家協会広東分会、1963年3月。韓昌が王龍と改名して節を持って登場し、「朝廷無力平辺患、却教紅粉去和番。打道長程人意懶」と歌う。紅線女 (1924年-2013年) は、1955年に広東粵劇団に加盟し、『昭君出塞』をモスクワ第六期世界青年聯歓節で歌い、東方古典音楽コンクールで金賞を獲得した。

＜中板＞ 2/4 J=96

唱	0	1 3	0	5 3 6	5321	6	0	5 7 6	5	5321	6-1	2
(韓昌)朝				廷(呀)	无	力		平		边	患。	
(乐队)	0	0	3 3	5 5	5321	6157	6	0	56 5	1321	6-1	2361
(鑼鼓)	0	0	35 3	0 5 3	5 21	6135	6	0 7 6	53 5	0321	6-1	2361
	0	0	35 3	0 5 3	5321	6535	6	0 7 6	53 5	3521	6-1	2761
	△	•	△	•	△	•	△	•	△	•	△	•

(2) 『昭君出塞』 (年代不詳)

劇場版。出演：広州粵劇団。原編劇：馬師曾。整理 (改編)：楊子静。監督：李飛龍。音楽設計：黄維謀・文卓凡。人物 (出演者)：王昭君 (紅線女)、呼韓邪 (黄志明)、韓昌 (呂雁声)、馬童 (小少佳)。「粵劇音楽総譜」(1963年)と同じように、韓昌が王龍と改名して節を持って登場するが、その歌詞は「国事凋塘真可嘆、天下蒼生水火間。不見朝臣憂国事、却教紅粉去和番」とやや異なる。ただ大きく異なるのは、和親を称賛する内容に改編されたことである。王昭君は胡地の荒涼とした風景に恐れながらも、呼韓邪から上掛けを掛けられ、故郷の景色を示されるが、奸臣によって十年も冷宮に監禁され、父母兄弟に会えないことを恨む。しかし呼韓邪に共に世の中を富強にしようと葡萄酒を勧められ、その人物の偉大さに感じ、弓を射て天に夫婦の誓いを告げる。批評家によれば、この喜劇結末版は曹禺の話劇『王昭君』を吸収して立案し、血あり肉あり、情あり義ある新昭君形象を創造しており、前半悲劇で後半喜劇の改編に関しては議論の余地があると言う。



6. 高甲戲

高甲戲は福建省泉州、廈門、漳州、台湾などに流行する地方劇。南曲を主とし他の曲牌も吸収している。1951年に泉州大衆劇社 (1957年に泉州市高甲戯劇団と改称) が結成されると、その後、廈門金蓮升高甲劇団などが結成された。

(1) 『昭君出塞』 (年代不詳)

劇場版。出演：泉州市高甲戯劇団。編劇：林英儀。監督：張伯萍。策劃：陳宇尊。監制：劉賢成。人物 (出演者)：王昭君 (顏佩瓊)、劉文龍 (陳朝宏)。顏佩瓊 (1944年-2012年) は、国家級非物質文化遺產高甲戯の伝承者。陳娟娟ら主要な俳優を指導した。従来の『昭君出塞』「送昭」では漢の大

臣が昭君を見送る場面から始まっていたが、本劇では男番兵と女番兵が昭君を出迎える場面から始まり、劉文龍が琵琶を抱き馬に乗って登場して戦況を悲しみ、続いて昭君が登場して「乍ち見ゆ長城の破碎するを」と慨嘆し、末尾を「怎でか我が此の身を屈辱すべけん、万古に人は漢の君臣を唾罵せん。」と結ぶ。



(2) 『昭君出塞』(年代不詳)

劇場版。出演：廈門市金蓮升高甲劇団。人物(出演者)：王昭君(洪艷女)、王文良(陳凌峰)、男番兵(林松青等4名)、女番兵(王燕青等4名)。内容は泉州市高甲戲劇団が上演した前掲の(1)『昭君出塞』(年代不詳)を踏襲している。



(3) 『昭君出塞』(年代不詳)

劇場版。出演：廈門市金蓮升高甲劇団。人物(出演者)：王昭君(李莉)、王文良(莊友龍)、男番兵(陳崢嶸等4名)、女番兵(王燕青等4名)。内容は廈門市金蓮升高甲劇団が上演した前掲の(2)『昭君出塞』(年代不詳)を踏襲している。



7. 川劇

川劇は四川省全域および雲南、貴州の一部に流行する。もと崑腔、高腔、胡琴腔(皮黄)、彈戲と四川の民間灯戲の五種は単独で上演されていたが、清の乾隆年間(1736年-1795年)に融合して形成された。

(1) 『昭君坐舟』(2014年)

『漢貞烈』劇の一折。伝統川劇高腔折子戯。重慶市川劇院、2014年12月18日上演。撮影制作：喬松。人物（出演者）：王昭君（王婭）、王龍（張帆）、賽昭君（熊璋）、鉄甲児（李舒）、船夫（廖敬）。王昭君は和番に赴く途中、船上から鳥を見て王龍に尋ねると、王龍が孤鴻鳥、すなわち杜鵑だと答え、景公が桃園に高台を築いて杜鵑を撃って夫婦を離散させた話をする、昭君は漢王と二年を過ごしたが、毛延寿によって離散させられたと歌う。船が黒河に至ると、王龍は夏の廬林君の娘文林公主が婿洪符が病死したため再婚を拒絶して河に身を投げ、文林廟が建てられた話をする。昭君は文林廟に参拝する。なお『漢貞烈』劇本は『川劇伝統劇本彙編』第六集（川劇伝統劇本彙編編集室、1958年）所収。



(2) 『昭君投江』(2015年)

別名『文林廟』。伝統川劇高腔折子戯。重慶市川劇院、2015年12月19日上演。指導：夏庭光。撮影制作：喬松。人物（出演者）：王昭君（王婭）、主持（車小佩）、王龍（廖敬）、賽昭君（王蓓）、鉄甲児（李舒）、船夫（張強）。本劇は1960年代に萃萍が上演して以来、初めて上演された。王昭君が出塞の途中で文林公主の事を聞いて、文林廟を祭って後、黒河に身を投じて殉節する。



8. 乱弾

乱弾は浙江省台州市の伝統劇。乱は雑の意味。激昂、純朴な風格を持ち、高腔、崑腔、乱弾、徽調などを融合する。2005年、台州乱弾劇団を再建。

(1) 『昭君出塞』(年代不詳)

台州乱弾。新改編折子戯。劇場版。改編監督：尚文波。作曲：朱冬康。芸術指導：張家旺。人物（出演者）：王昭君（鮑陳熱）、王龍（胡月光）、馬夫（朱彦昌）、護衛（浙江省台州乱弾劇団員）。伝統劇の内容を継承して、武将が頼りないため出塞する王昭君の悲哀を描いているが、結末では王昭君は「巾幗の美人は心に憾み無し、功高く千秋に万人は讚えん。」と歌い、和親への貢献を讚美する内容に改めている。



三 伝統劇

元の馬致遠『破幽夢孤雁漢宮秋』雑劇、明の無名氏『王昭君出塞和戎記』伝奇、清の無名氏『青塚記』伝奇を継承し発展させた作品で、劇全体を上演する「本戯」である。

1. 京劇

(1) 『漢明妃』(録音1956年、配像1997年)

劇場版。中国京劇音配像精粹。1956年上演、1997年6月録音配像。協力出演：北京京劇院。策劃：謝国祥。録画制作：天津市中華民族文化促進会。CCTV11放送。人物(出演者)：王昭君(録音：尚小雲、配像：孫明珠)、漢元帝(録音：方英培、配像：李崇善)、毛延寿(録音・配像：尚長栄)、王龍(録音：華世麗、配像：黄柏雪)、王朝珊(録音：趙和春、配像：黄世驥)、鄭仁德(録音：尚富霞、配像：姚玉成)、馬夫(配像：費洋)、張守信(配像：唐榮昌)、单于王(配像：張韻斌)、張槐(配像：劉大昌)、魯成(配像：李元真)、宋顔昭(配像：徐尚賓)、虜王(配像：何金龍)、大太監(配像：朱錦華)、張勇(配像：牛暉)。漢元帝は皇后が後継ぎを生まないのので心配し、臣下の上奏に従い毛延寿を越州に遣って太守王朝珊の娘昭君の肖像画を描かせる。毛延寿は王昭君の絵図に細工をして冷宮に監禁し、匈奴に逃げて单于王に絵図を見せて和親を逼ったため、昭君は单于王に毛延寿を処刑させ、自分も自刎する。(川に身を投じるわけではない。)



(2) 『漢明妃』(1980年)

劇場版。出演：山東省京劇団。録画制作：山東電視台。人物(出演者)：王昭君(尚長麟)、張槐・張守信(張定志)、魯成(閻德威)、宋顔昭・漢元帝(謝同喜)、毛延寿(唐世辛)、梅香、王朝珊(徐文奎)、院公、王龍(王玉瑾)、旗牌(楊志剛)、鄭仁德・大太監・馬公公(周宝山)、单于王、虜王(楊国安)、馬僮(白雲明)。尚長麟(1931年-1983年)は京劇旦役の俳優。北京生まれ、京劇「四大名旦」の尚小雲の次男。『漢明妃』を二年学び、王昭君を演じるために琵琶を四年学んだと言う。山東省京劇団団長を務めた。劇の結末では单于王に毛延寿を処刑させ、漢との和平を約束させる。尚小雲

の『漢明妃』とは異なり、昭君は自刎しない。



2. 黄梅戲

湖北省黄梅県に起源し、安徽省安慶県で隆盛した。農村の山歌、秧歌、茶歌、采茶灯、花鼓調が都市に入り、漢劇、楚劇、高腔、采茶戲、京劇などを吸収して現在の劇種を形成した。唱腔は純朴で抒情的である。1953年に安徽省黄梅戲劇団が合肥で結成された後、陸續と劇団が結成され、1954年に黄梅戲『天仙配』が華東戲曲觀摩演出大会で成功を収め、その映画版は国内外で有名になった。

(1) 『王昭君』(1964年)

映画版。出品：香港邵氏製片廠。監督：李翰祥。編劇：王植波。人物（出演者）：王昭君（林黛）、漢元帝（趙雷）、毛延寿（洪波）、石顯（蔣光超）、呼韓邪（李英）。林黛（1934年－1964年）は、香港の著名な映画女優。黄梅戲の映画に『貂蟬』（1958年）、『江山美人』（1959年）などがある。『王昭君』も含めて静婷が幕後代唱。昭君は出塞に際して弟に武将になって敵と戦え、文官は和親しかできないと告げ、元帝に以後は国威発揚に努めるよう諫める。結末には呼韓邪に故郷に帰ると告げて河に身を投げる。



(2) 『昭君出塞』二集(2005年)

映画版。黄梅戲經典系列。黄山外景撮影。安徽文化音像出版社。ISRC：CN-E27-05-370-00/V.J8。監制：陳堅。総策劃：馬發佳。出品：胡慶平。総監督：李必玉。人物（出演者）：漢王（劉馬琳）、王昭君（陳琳）、毛延寿（羅繼棟）、林皇后（劉春蘭）、魯金定（張桂霞）、劉文龍（滕忠玉）、肖氏（鄭芳）、王忠（王志龍）、姚氏（魏明霞）、郡主（程冰）、小達子（陳浩）。劉文龍は老父母を新妻に託す。昭君は漢王・皇后に見送られる。皇后は昭君の老父母の世話をすると慰める。昭君と父母は別れを惜しむ。父は国家のためだと説得する。昭君は北国に着いたら必ず奸臣を誅すると言う。漢王は昭君に番王を補佐して両国の結束を固め、人々の生活を安定させてほしいと要望する。



3. 廬劇

安徽省の伝統地方劇。唱腔は民歌小調・山歌・情歌・麻城高腔などの音楽を吸収し、古装劇は花腔小戯・折戯・本戯に分かれ、本戯は主として悲歡離合・愛情・公案をテーマとする。劇団には安徽省廬劇団・合肥市廬劇団などがある。

(1) 『王昭君』六集 (2004年)

映画版。監制：陳堅・瞿廷瑞。出品：劉勤。総企画：宋世海。制作：劉銀。顧問：時念国。出版：安徽文化音像出版社。発行：安徽文化音像發行總社。総経銷：四友文化传播有限公司・安徽同人影視傳播有限公司。ISRC：CN-E27-03-0850-0/V.J8。2004年9月18日出版。人物（出演者）：漢元帝（朱德順）、王昭君（孫曉雲）、姚氏（劉長芬）、毛延寿（李劍）、李陵（魏小五）、林皇后（夏小二）、单于（周小五）、金花公主（汪小雲）、王忠（方占祥）、魯定金（陳邦翠）、衛律（王剛）、蘇武（張軍）、張学仁（張軍）、宮娥（林冬梅）、婁相（馮小明）、林総兵（汪洋）。



小説『双鳳奇縁伝』に依拠した作品。蘇武が帰国して番王が辺境に昭君廟を建てて毛延寿を送り返したと告げたため、元帝は毛延寿を処刑する。

(2) 『王昭君出塞』六集 (年代不詳)

映画版。出版：安徽文化音像出版社・安徽環龍影視公司聯合。出品：陳慶奇。監制：陳堅。編劇：邱文国。監督：邱文国・王剛。芸術総監：陳慶奇・王剛。人物（出演者）：王昭君（盛小五）、漢王（单開軍）、皇后（夏小二）、李林（張三）、毛延寿（邱文国）、王忠（辺衛東）、張氏（王家梅）、賽昭君（陳璐璐）、魯員外（李良發）、魯鳳英（宛小香）、蘇武（張志林）、蘇月娥（徐三妹）、番王（翟篤飛）、公主（胡栄玉）、劉文龍（翟安生）、番帥（李良發）、丫環（張臘梅）、玄女娘娘（孫口琴）等。



小説『双鳳奇縁伝』に依拠した作品であるが、時代を後漢に設定する。漢王劉秀（後漢光武帝）は西宮が死去して、夢に岳州の皓月昭君十六歳が現れる。昭君の父母は雲南に流刑になり、母張氏が女兒王艶を出産する。蘇武は娘月娥に昭君を装って北国に嫁ぐよう説得するが、毛延寿が偽物と見破り、蘇武に牧羊を命じる。昭君は番王に毛延寿で橋を固定するよう求め、漢王は番王を許して両国の和平を祈る。

(3) 『四大美女之昭君出塞』六集 (年代不詳)

映画版。主編：合肥芸海文化音像有限公司。出版：安徽省文化音像出版社。出品：時念国。総企画：時念国、昂小紅。監制：陳堅。監督：裴德水。総顧問：金東樹。編劇：裴德水。協力撮影：淮南毛集農民公園。人物（出演者）：王昭君（昂小紅）、欧陽林（王小五）、漢元帝（裴德水）、玉美人（楊青霞）、温敦（王成雷）、阿亭吉公主（宛小香）、欧陽氏（昂朝芳）、王父（鄧紀芳）、毛延寿（裴德飛）、賽阿瑪（倪園園）、老馬子（鄧紀芳）、大单于（唐伝江）、小单于（呂俊）、賽富（王栄松）、楊豊（李自成）、顧氏（郭麗）。



小説『双鳳奇縁伝』に依拠した作品であるが、昭君は和親を重視し、单于およびその子に嫁ぐ点が

異なる。また昭君に魅了される従兄の欧陽林、匈奴の駙馬文登が出現する。そのほか、昭君と対立する后妃を昭儀とし、毛延寿は匈奴に逃げず服毒して死ぬ。劇の終局は年老いた昭君が欧陽林を捜し出して、琵琶と横笛を合奏する。昭君が死ぬと、欧陽林が昭君廟を管理する。

四 新編劇

伝統劇は反和親を主旨として、王昭君と漢帝との恋愛を主軸にして悲劇的結末を演出しているが、新編劇は伝統劇を改編し、和親を主旨として、王昭君が戦乱を収めるために単于に嫁ぐという喜劇的な結末を演出している。この中には曹禺の話劇『王昭君』五幕（1979年）をもとに製作された新編劇も含む。なお曹禺劇では毛延寿を登場させず、王昭君の再婚も演じていない。

1. 崑曲

(1) 『王昭君』九場（2008年）

新編歴史崑曲。劇場版。編劇：劉建軍。監督：叢兆桓。北方崑曲劇院資料。撮影制作：程偉。2008年10月15日。人物（出演者）：王昭君（于雪嬌）、大単于（海軍）、小単于（王鋒）、漢元帝（許乃強）、大閼氏（張竹梅）、伊屠智牙師（饒子）、輿（侯雪龍）、毛延寿（范輝）、橙鈴（譚志濤）、雪兔（張暖）。「新編歴史崑曲」と銘打っており、王昭君の和親への貢献を主題とし、その死後の国情についても演じている。



〔楔子〕毛延寿は慈悲深い昭君に救われたが、元帝が崩御して新帝が即位したため、また昭君に頼るほかないと言う。新しいストーリーである。〔送別〕文武四官が昭君を見送る場面は伝統崑曲を継承しているが、新たに「昭君公主」と称して、昭君は父皇に別れを告げる。この後、呼韓邪単于が登場して公主の美貌を称賛し、漢帝の前で停戦を宣言する場面を設定する。これらは新作の特徴である。だが皇帝が文武四官に対し、衛青、李広、去病、霍光がいないと責める場面は伝統劇のストーリーである。そして文武四官は死罪を免れようと、毛延寿の所為だと訴え、皇帝は昭君公主に免じて毛延寿の族姓を削るだけで放免する。〔行路〕昭君は呼韓邪とともに馬で疾駆したいと言い、従来の悲哀の描写は一転し、昭君と馬僮、呼韓邪が馬を調教し、昭君と呼韓邪は草原の風景を堪能する。昭君は漢恩と胡恩に感謝する。〔冊封〕単于は昭君を寧胡閼氏に封じ、一歳の伊屠智牙師を右日逐王に封じる。〔教織〕昭君の匈奴への貢献が描かれ、昭君は匈奴の娘たちに貂油の軟膏を顔に塗って肌の乾燥を防がせ、また羊毛による紡績を教え、収穫した米を賞味させる。〔魂佑〕匈奴は寧胡閼氏に感謝の歌を捧げる。呼韓邪は死に臨んで昭君を小賢王に託す。これは曹禺の話劇『王昭君』には無いストーリーである。〔求親〕大閼氏は昭君に小賢王復株累と結婚するよう勧めるが、昭君は庶母であることを理由に固辞する。〔花証〕昭君は漢帝の詔勅を待って結婚を承諾する。〔禅讓〕四十八年間、匈奴は平和であったが、烏累若単于が病に倒れ、左賢王伊屠智牙師と呼衍王輿は後継を争って戦う。そこへ昭君が現れ、呼韓邪の英霊が守って四代の王が続いたが、王莽が帝位を篡奪して匈奴の地位を低くした、外敵に対抗するため兄弟喧嘩をやめて伊屠智牙師に王位を禅讓せよと諭し、伊屠智牙師を逃がす。毛延寿が現れて、昭君出塞図が完成したと告げる。末尾は「昭君自有千秋在、胡漢和親見識高」（董必武、1963年「謁昭君墓」）を歌って閉幕する。

2. 京劇

(1) 『昭君出塞』七場 (録音1983年、配像2003年)

劇場版。李瑞環策劃「中国京劇音配像精華」収。1983年録音、配像。記録制作：天津市中華民族文化促進会、2003年7月。出版：天津市文化芸術音像出版社、2004年9月。ISRC：CN-C10-04-0056-0/V.J8。改編：楊榮環・何永泉。録音主演：楊榮環・張文軒・何永泉・穆祥熙。出演：天津京劇院。映画制作：葉厚永。策劃：葉厚榮。舞台監督：何永泉。テレビ監督：閻徳威。人物 (配像)：王昭君 (録音：楊榮環、配像：王艷)、漢元帝 (録音：張文軒、配像：趙華)、毛延寿 (録音配像：何永泉)、王龍 (録音配像：穆祥熙)、馬童 (録音：爾建国、配像：劉学勇)、单于 (録音配像：王文斌)、虜特 (録音：王金銘、配像：王欽)、鄭仁徳 (録音：高貴生、配像：邵海龍)、王朝珊 (録音配像：单佑安)。毛延寿の暗躍を描く伝統劇を踏襲しながら、和親を重視する新ストーリーを構築する。



[1、遣使求親] 美女の選定を后妃補充のためではなく、单于との和親のためとし、单于が虜特を特使として元帝に要請する。[2、詐財立約] 昭君の母は死んでいる。王朝珊は賄賂を工面できず、毛延寿に借用書を書かせられる。[3、誘君就範] 毛延寿は借用書を破棄した昭君を恨み、肖像画を改竄して冷宮に監禁する。[4、昭雪請行] 昭君は父を遼東へ配流した毛延寿への恨みを晴らすため、出塞を覚悟する。[5、狼狽為奸] 毛延寿は虜特の王位篡奪を唆す。[6、欲挑戦乱] 虜特と毛延寿は单于に挙兵を促すが、王昭君を送るという元帝からの書信が届く。[7、出塞和親] 昭君は「別離淚漣」を歌い、山路にさしかかると馬に乗り、馬夫と烈馬を調教する。雁門関に到ると、馬は進まず、故郷も見えないが、昭君は塞外の風景を堪能する。毛延寿が襲撃するが、单于と虜特が現れて救出する。毛延寿は虜特の共謀を自供し、单于は二人を処刑する。

(2) 『昭君出塞』 (2017年)

劇場版。舞台監督：程洪磊・竇騫・王俊鵬。出演：天津京劇院。記録制作：天津市中華民族文化促進会、2017年4月。中央電視台、中国京劇像音像集萃。録音配像監督：何永泉。テレビ監督：閻徳威。人物 (出演者)：王昭君 (王艷)、漢元帝 (趙華)、毛延寿 (王嘉慶)、王龍 (竇騫)、馬夫 (侯佩志)、王朝珊 (馬傑)、鄭仁徳 (邵海龍)、单于 (時維)、虜特 (程洪磊)、菊香 (陳媛)、毛福 (芮振起)、張槐 (王帥軍)。



『昭君出塞』七場 (録音1983年、配像2003年)に似る。漢元帝が虜特を迎え、来朝の用件を尋ねると、虜特は王妃が病死したため、兄王が漢と婚姻を結び、和親を図りたいという意向を伝え、元帝も胡漢の結親は佳話だ、美女を選んで嫁がせようと答える。

(3) 『漢明妃』十場 (2019年)

劇場版。出演：国家京劇院。2019年9月北京梅蘭芳大劇院。芸術顧問：譚元寿等。策劃：趙景勃等。テレビ監督：陳燃。人物 (出演者)：王昭君 (查思娜)、漢元帝 (李博)、毛延寿 (蔡景超)、王龍 (金星)、馬夫 (王超)、王朝珊 (馬磊)、馬夫 (趙輝輝)、单于王 (楊威)、鄭仁徳 (楊超)、張槐 (李曉威)、

張守信（朱静論）、虜王（張艷棟）、魯成（賈永全）、宋顏昭（張浩洋）、張勇（白洋）。尚小雲の孫娘で尚派の上演芸術家尚慧敏が自ら上演指導した。この劇は尚小雲の子尚長麟（1931年－1983年）の上演本（1980年、山東省京劇団）¹を参考にし、昭君が自尽する場面を単于との結婚の結末へと改編している。



〔1、金殿〕漢元帝は後継ぎがないため、画工毛延寿に岳州太守王朝珊の娘王嬙を参内させる。〔2、描容〕王嬙は母を早く亡くし、弟王龍は勉強している。王朝珊は画料を拒絶し、王嬙は自画像を描く。〔3、毀顔〕毛延寿は左痣右疤がある画像を描く。〔4、冷宮〕元帝は王朝珊を遼東に配謫し、昭君を冷宮に監禁するが、琵琶の音が聞こえ、昭君に会うと、美貌であったため、明妃に封じる。〔5、叛逃〕毛延寿は画像を抱えて単于国に行く。〔6、献画〕毛延寿は単于王に王嬙の画像を見せ、もと和親の女子であったが、元帝が明妃に封じたと偽り、単于王は玉門関に出兵する。〔7、昭華宮〕昭君は昭華宮で富貴を享受していたが、衆生を救うために和番に赴く。〔8、出宮門〕王龍が登場して、敗北は皆戦う将が無いことに困ると歌う。明妃は「別離淚漣」を歌い、毛延寿を恨む。〔9、出塞〕王龍は馬夫に烈馬を調教させるが、馬が進まず、明妃は悲しむ。〔10、和親〕明妃は狼主に領土の不侵犯、肖像画の返還、毛延寿の斬首を約束させ、虜王が毛延寿を斬首した後で、狼主とともに単于国に向かう。

3. 豫劇

河南梆子とも称し、河南省に流行する。清代乾隆年間に盛行し、崑腔、吹腔、皮簧などの声腔や、河南の民間に流行する音楽、曲芸説唱と俗曲小令を吸収した。

（1）『漢宮昭君』（2017年）

新編歴史劇。劇場版。出品：陳新琴。総企画：周樹群等。監督：韓震。編劇：姚金成。舞台監督：盧浩、李雲。作曲：耿玉卿。主催：中共商丘市委宣伝部、商丘市文化広電新聞出版局。2017年12月30日、CCTV11九州大戯台放送。人物（出演者）：王昭君（陳新琴）、漢元帝（王効領）、呼韓邪（閻玉龍）、鄭婕妤（張燕）、李太監（韓振業）、蕭育（郭傑）、張姑姑（張萍）、烏敦（張偉）、屠隆奇（吳青峰）、盈盈（盛秋霞）、月月（葉勒勒）、休勒（劉国強）。曹禺の話劇『王昭君』をもとにした作品。



王昭君は大単于が和盟を求め、兵士が十年ぶりに帰郷できると喜び、侍女に情歌「長相知」を歌わせる。このため皇后は昭君を冷宮に監禁し、元帝は劉麗娘を選ぶ。李太監は張姑姑に、昭君が先に元帝が寵愛した李夫人に似ており、皇后王政君が警戒したためだと告げる。冷宮では鄭婕妤が六年監禁されており、王氏の繁栄に失望して縊死する。昭君は公主が匈奴に嫁ぐことを拒否しているので、和平のため呼韓邪に嫁ぎ、漢宮からの脱出を考える。烏敦は和親で匈奴が減びることを恐れるが、呼韓邪は漢の文化に学ぶことを選ぶ。休勒は烏敦のために関市で漢の隊商を襲う。元帝は「長相知不相疑」に習って呼韓邪を疑わず、昭君に吉祥玉を与え、宮中に留まるよう勧める。昭君は元帝から后妃

¹『漢明妃』、1980年山東省京劇団上演本。録画制作：山東電視台。人物（出演者）：王昭君（尚長麟）、張槐、張守信（張定志）、魯成（閻德威）、宋顏昭、漢元帝（謝同喜）、毛延寿（唐世辛）、梅香、王朝珊（徐文奎）、院公、王龍（王玉瑾）、旗牌（楊志剛）、鄭仁德、大太監、馬公公（周宝山）、単于王、虜王（楊国安）、馬僮（白雲明）。

に封じると告白されて感動するが、背信すれば再び戦争が始まると悟り、和番を決心する。昭君も夢の中でしか元帝に会えないと悲しみ、父皇と呼んで元帝と別れ、雁が空に鳴く秋に長安を出立し、城外では呼韓邪が迎える。

4. 黄梅戲

(1) 『昭君涙』(2014年)

劇場版。新編黄梅小戲。編劇：王曉馬。監督：王青。作曲：徐志遠。出品：安徽省銅陵市藝術劇院有限公司、2014年8月。人物（出演者）：王昭君（王麗娟）、毛延寿（唐建峰）。王昭君と毛延寿だけが出演する特異な作品である。



王昭君が月夜に出塞和親を待って庭園にいと、毛延寿が来て宝珠を見せて命を救ってほしいと嘆願し、秭帰が水害で苦しみ、昭君の兄弟が結婚するため金が必要であろうと言う。昭君は肖像画を見て驚き、三年冷宮に監禁されたのは毛延寿の仕業であったかと泣く。毛延寿は昭君が傲慢で黄金が美貌を生むことを知らなかったためであると言う。昭君は、異民族であれ同民族であれ、血を流すことは避けたいと考えて、毛家の無辜の百六十人を救うため、毛延寿を許す。

5. 淮劇

江蘇省、上海市および安徽省の一部の地域に流行する地方劇。科白は建湖語、曲調は建湖腔である。1952年に上海市人民淮劇団が全国第一期戯曲観摩演出大会に参加し、1953年に淮劇が正式の名称となった。

(1) 『昭君出塞』(2000年)

劇場版。聯合制作：映視・常笑・戯述仁生。編劇・監督：程少楠。作曲・主胡：程少梁。2000年5月、瀘北影劇院上演。制作：2012年6月。人物（出演者）：王昭君（彭琴芳）、漢元帝（程少楠）、凌皇后（裴菊萍）、王忠（李文藻）、劉文龍（胥洪林）。漢元帝と王昭君が歌を交わしながら昔時を語るというところに特徴がある。閉幕後に昭君の漢匈両民族和合への貢献を讃える辞を掲載する。



中秋節に夢の中で遇って、毛延寿を月（岳）州に派遣したが、毛延寿は途中で民財を略奪し、昭君の父に四十棍打を加えた、昭君が八十棍打を返すと、毛延寿は画像に喪夫の痣を加え、昭君は冷宮に監禁された、琵琶を弾いて悲しんでいると、皇后が冷宮に来て冤罪を知り、元帝が明妃に封じて恨みを雪いだ、乱臣は懲罰を受けるべきであるが、毛延寿は画像を持って逃亡し、北国に身を寄せて豺狼を唆し、美女を奪うため侵攻して、民衆は塗炭の苦しみを受けた、李広が雁門を守ったが失敗し、李陵・百花夫人は命を落とした、蘇武は老齢ながら和議に赴いたが、牧羊城に捕らえられて帰れず、国庫は空っぽ兵馬無く、出陣するに將軍無く、天子の前に文武は無言、和番を止めるすべも無し、和番はすべて国のため、朕は悩んで王冠ゆがみ、妾も簪を挿す気力無し、云々。昭君は皇后にも別れを告げて、天子を助けて長寿を達成し、万国が漢に帰順するよう、我が父母の庇護を賜るようお願い、皇后も別れの酒を勧めて、道中の無事を祈る。父も再会が何時になるかと悲しむが、出発の時が迫り、昭君を馬に乗せる。天子は昭君の賢明さを讃え、昭君は泣いて別れ

を告げる。閉幕。

6. 花鼓戲

湖南、湖北、安徽、江西、河南、陝西などに流行する地方劇。湖南の花鼓戲が最も著名である。湖南花鼓戲は長沙花鼓戲（益陽花鼓戲）、岳陽花鼓戲（臨湘花鼓戲）、衡州花鼓戲（衡陽花鼓戲）、邵陽花鼓戲、常德花鼓戲、永州花鼓戲（零陵花鼓戲）に分かれる。民歌に起源し、次第に一旦・一丑が上演する形式が生まれた。『瀏陽県志』（1818年、清嘉慶23年）によれば、元宵節に童子が丑旦に扮して上演したと言う。初期は民間の小調や牌子曲で生活小戯であった。

（1）『昭君出塞』四集（年代不詳）

新編湖南花鼓戲。劇場版。出演：南県洞庭湖花鼓戲劇団。人物（出演者）：王昭君（陳愛香・李再蘭）、单于（胡進牛）、温敦（余立軍）、漢王（胡小花）、阿婷潔（王鳳蓮）、烏禪幕（趙遐齡）。曹禺『王昭君』五幕（1979年）を上演した作品。



〔1〕昭君が上殿して歌謡「長相知不相疑、漢胡一家同兄弟」を披露し、雲中太守陳昌から匈奴が関市の隊商襲撃の急報が届くが、漢王は「長相知不相疑」の歌詞に学んで疑わない。〔2〕烏禪幕は息子温敦が休勒と共謀し関市を襲ったことを責める。温敦は姉玉人が死んで单于が昭君に恋したことを非難する。单于是休勒の犯行を二子に証言させる。昭君は義妹の阿婷潔から玉人が兄单于と結婚して戦場に出陣したが、单于に漢家の娘を娶って戦火を収めるよう託して死んだと告げられて責任の重大さを感じる。单于も玉人の遺言を思い出すが、和親の計を邪魔する者がいることを嘆く。〔3〕温敦は昭君を陥れるため、休勒に命じて王子嬰鹿に毒を盛らせ、玉人の石像を毀させる。また单于の前で漢王が龍庭に侵攻すると唆す。〔4〕苦伶仃は鞭打四十を受けて、酒を飲んで单于の前に現れ、王龍が温敦と同じように凶暴だと言う。单于是和親の計が漢王の陰謀であったと嘆いて昭君を疑うが、苦伶仃からかくかくしかじかと経緯を聞いて驚愕する。单于是阿婷潔から嬰鹿の中毒を聞いて悲しみに沈む。温敦は隙に乗じて单于を殺そうとするが、右賢王・左賢王や漢王には勝てないと思って断念する。单于是また玉人の石像が毀されたと聞いて激怒する。昭君は二つの事件が温敦の仕業だと考える。姑母は昭君が龍庭に来るべきではなかったと言う。阿婷潔が来て、休勒が駙馬温敦の部下で、温敦と王龍の共謀だと言う。休勒が自供しようとするが温敦が刺殺するが、温敦は捕らえられる。

7. 揚劇

江蘇省揚州、鎮江、南京、上海などの地域に流行する地方劇。揚州の民間歌舞、小戯、花鼓戲や蘇北の民間酬神賽会で上演する香火戯に、揚州清曲、地方民歌小調を加えて形成された。

（1）『王昭君』（2010年）²

揚劇テレビ芸術映画。放送局：中央電視台・江蘇省廣播電視総台。CCTV11九州大戯台。曹禺原著、江蟄君京劇本改編。出演：江蘇省揚劇団。編劇：袁振奇。戯曲監督：范継信。監督：錢愛東・易泓。人物（出演者）：王昭君（徐秀芳）、呼韓邪（侯長栄）、温敦（繆勇）、孫美人（呉蕙明）、蕭育（楊国柱）、阿婷潔（袁曉君）、漢元帝（陳堅）、王龍（楊曉偉）、烏禪幕（許国山）、盈盈（熊曉萍）、戚戚（趙琳琳）、苦伶仃（張大春）。曹禺の原著に基づいて構成されており、漢元帝を英明な君主に描いている。冒頭

² 1996年初演。1999年、江蘇電視台が戯曲電視劇四集を制作して中国電視「金鷹獎」最佳戯曲片獎を獲得した。

は「長相知」の曲から開始する。

昭君は駱駝や鷹を見て沙漠の景色に生命を感じ、和親の任務の重大さも自覚する。王龍は酩酊して温敦から玉人の石像を見せられ、像を毀そうとするが昏倒する。匈奴を侮辱した王龍に反感を覚えた温敦は昭君の晋廟儀式を阻止するため石像を毀し、单于の前で王龍の犯行だと言う。苦伶仃が現れて自分が石像を毀したと自供する。昭君が苦伶仃の鞭の跡を見せたため、温敦が犯行を自供し、单于が処刑しようとする昭君が止め、温敦は悔悟する。温敦は单于に経路宝刀を昭君に持たせて指図させるよう進言し、单于は晋廟儀式を挙行する。劇は『長相知』の音楽で締めくくる。



(2) 『王昭君』六場 (2021年)

新編大型歴史劇。劇場版。原著：曹禺、改編：江螫君（京劇本）。出演：江蘇省揚劇団。改編：袁振奇。監督：范繼信他。人物（出演者）：王昭君（徐秀芳）、呼韓邪（侯長栄）、温敦（繆勇）、孫美人（呉蕙明）、蕭育（楊国柱）、阿婷潔（袁曉君）、漢元帝（陳堅）、王龍（楊曉偉）、烏禪幕（許国山）、盈盈（熊曉萍）、戚戚（趙琳琳）、苦伶仃（張大春）。



[1、幽怨請行] 王昭君は掖庭に住んで三年が経ち、香溪河で遊んだ昔を懐かしむ。白髪の孫美人は、宦官から先帝への殉葬を命じられる。昭君は出塞を志願することを決意する。温敦はひそかに隊商を襲わせる。[2、金殿応選] 元帝と单于は昭君の美貌に驚く。昭君は歌謡『相知歌』「上邪」（樂府鼓吹曲辞）を披露する。元帝は頭に一字加えて「長く相知る」とする。鶏鹿寨都尉が匈奴から隊商が襲撃され、関市が焼き払われたと報じる。元帝は長く相知ることは相疑わざることだと言って、和親反対派の犯行だと断じる。[3、出塞遠嫁] 『長相知』の音楽が流れる。昭君は出塞し、烏籠を出て青空に飛び立つことを喜ぶ。昭君を送るのは漢の臣下ではなく苦伶仃であり、昭君は单于が贈った白馬に乗り換え、山中に入って人気も無く、異域に対する不安が増幅する。ここで昭君・苦伶仃・馬僮の仕草は伝統折子戯を踏襲している。[4、掲像盟心] 「祥雲の背後に陰雲有り」と言う歌に導かれる。阿婷潔と昭君は帳を開けて花輪を玉人の石像に掛ける。单于は昭君の寛大さに感謝し、『長相知』の歌を所望する。[5、晋廟受阻] 王龍は酩酊して温敦から石像を見せられ、石像を毀そうとするが昏倒する。匈奴を侮辱した王龍に反感を覚えた温敦は昭君の晋廟儀式を阻止するため、苦伶仃の諫めも聴かず石像を毀し、单于の前で王龍の犯行だと言う。苦伶仃は断たれた片腕を持ち去る。单于は晋廟儀式を延期する。昭君は单于の態度の急変に驚く。[6、天地同春] 苦伶仃は石像の片腕を昭君の帳房に送る。温敦が犯行を自供し、鶏鹿寨の襲撃も自供する。单于が温敦を処刑しようとする昭君が止め、温敦は悔悟して昭君を新闕氏として認め、单于は晋廟儀式を挙行する。劇は『長相知』の音楽で締めくくる。

8. 漢劇

俗に「二黄」と称し、湖北省武漢市の地方劇を指す。清代中葉に湖北で形成され、民国年間に漢劇と定められた。主として湖北省から江西、河南、四川、陝西、湖南、広東、安徽、広西など広く流行している。唱腔は優美、科白は気品があり、俳優には教養が要求される。腔調は西皮、二黄のほか、羅羅腔も用いる。伴奏楽器は胡琴、月琴、三弦、鼓板など。

(1) 『王昭君』(2020年)

広東漢劇。劇場版。広東漢劇伝承研究院。武漢琴台大劇院。録画：CCTV11空中劇院。人物(出演者)：王昭君(管楽瑩)、呼韓邪(万瑜)、温敦(葉林)、玉人神(黄麗華)、烏禪幕(陳文斐)、王龍(鄧振鵬)、漢元帝(魏国浩)、阿婷潔(羅瑩)、姜夫人(洪曉瑜)、孫美人(徐尚楣)、苦伶仃(魏志鵬)、盈盈(曾潔樂)、戚戚(吳靜)、休勒(王国平)等。曹禺の話劇『王昭君』に基づく。



盈盈は単于が和親のため上京したため、戚戚に見に行こうと誘うが、戚戚は昭君と一緒にいると断る。孫美人が六十歳になっても天子に会えないが、姜夫人が昭君は后妃になると言っていたと話す。王昭君が琵琶を抱いて登場し、深宮に長くいたくない、美人に封じられたとて何になると言う。そこへ孫美人が「北方有佳人、絶世而独立」と歌いながら登場する。侍女たちは孫美人が毎日天子に会えるのを待っていると言う。

9. 高甲戲

福建省泉州、廈門に流行する閩南語系の地方劇。明末清初に沿海の漁村で迎神賽会などで梁山の好漢に扮して村中を練り歩いたことに起源する。1920年以後、急速に発展し、晋江、南安、惠安、同安、安溪、永春、徳化には400余りの戯班が誕生し、毎年フィリピン・シンガポール・インドネシアなどに公演を行っている。唱腔は南曲を主とし、木偶調や民間の小調を兼用する。

(1) 『昭君出塞』二場(2011年)

新編歴史劇。出演：泉州市高甲戯劇団、泉州市高甲戯伝承中心。編劇：鄭懷興。監督：欧陽明。舞台美術設計：黄永。造型設計：王玲。作曲：葉正萌。人物(出演者)：王昭君(陳娟娟)、漢元帝(陳江鋒)等。陳娟娟は1983年に福建省芸術学校を卒業し、泉州市高甲戯劇団に所属する。2000年から2002年まで中国戯曲学院で学んだ。この作品は伝統戯を継承しながら、王昭君の和親への貢献を讃える作品であり、特に舞台効果が精巧を極めてい



〔上〕宮女たちが琵琶を弾いて登場し、「青塚芳草連天碧、明妃伝説千古奇」と歌い出す。(楚国の漆塗りの屏風の中で王昭君が琵琶を抱いて舞うのが見える。) 鄢太監は小太監に絵図を用いて后妃を選び、選ばれないと一生を冷宮で過ごすと言われ、毛画師と密談して宮女たちを呼び、賄賂の額を確認する。王昭君が「初秋蘭兮佩於身」と歌いながら現れ、毛延寿は玉鐲が欲しいと言うが、昭君は母の形見だと言って与えず、毛延寿は怒って最初に昭君を描き、昭君は画面の中に入る。小太監は昭君が選ばれず李玉瑩が選ばれたため、疑問に思う。李婕妤は天子に昭君の右の目元に痣があることを想い出させ、鄢太監も中書令石頭が人相占いから白虎痣で大凶だと言われたと告げて、天子を昭君に会わせない。昭君は悲観して琵琶を掻き鳴らし、天子は洞簫を吹いて応え、二人は同場面で「咫尺天涯難相親」と、空しく思いを歌い合う。呼韓邪が漢の婿になりたいという表奏が伝えられ、天子は辺患がなくなると喜ぶが、公主が幼いため、宮女を嫁がせる。昭君は夢の中で秭帰へ飛び帰ると、屈原が現れるが、仮面を被った鄢太監が邪魔をし、夢が覚める。昭君は籠から抜け出すため、出塞和番を決意する。天子と単于はその美貌に驚き、痣が無いため、天子は毛延寿を捜す。〔下〕鄢太監が和親の延

期を要求したため、単于は漢王の背信を疑う。宮女張小芳は昭君のために冬着を仕立て、辺境の防衛に当たっている父張老三の安否を知らせてほしいと頼む。そこに天子が来て冬着は要らぬ、昭君を昭儀に封じると告げたため、昭君は戸惑うが、鄢太監が単于と骨都侯が長安を出奔したと告げたため、昭君は単于に降嫁することを懇願し、和親が成立すれば辺境の老兵を帰郷させ、待詔の宮女を帰郷させることを求める。王老三が登場し、王昭君の和親によって解放されると喜ぶ。昭君公主が冬着を着て小太監と共に到来し、烽火台に登って老兵を労い、張老三は烽火台の下に埋葬され、辺関を守っていると聞いて、兵士たちに家信を渡し、和親の重要さを思い知る。温勒が辺境を侵攻し、抗議した辺関の將軍と決闘するが、昭君が間に入る。毛延寿はなお偽の王昭君だと言い張るが、呼韓邪が出現して毛延寿を罵って退ける。単于は胡漢は一家だと明言し、昭君を寧胡閼氏に封じる。昭君は単于らと共に馬に乗って辺関を越える。

10. 瓊劇

海南省海口市、定安県などで流行する閩南語の伝統劇。海南に伝わった木偶戲、正音戲、梨園戲、高甲戲や潮劇など外來の戲曲と海南現地の方言土語、民間歌舞が結合して形成された。1956年、広東瓊劇団が広州で結成され、1959年に広東瓊劇院が完成し、1960年に海南芸術学校（後に海南瓊劇学校と改名）が創設され、海外の海南省出身の華僑から重視されて、1982年から東南アジア諸国で巡回公演を始めた。

(1) 『王昭君』(2007年)³

新編歴史瓊劇。出品：シンガポール海南文化学会。原作：林祿三。監督：張莉。編劇：馮所慶。人物（出演者）：王昭君（蔡篤翠）、単于（鄭仕欽）、陶青・漢元帝（葉建宏）、毛延寿・馬夫（陳榮成）、姜才人（陳慧敏）、李才人（葉亜鏢）、趙才人（林若齡）、県令・石頭・王龍（謝江河）、王襄（王康庄）、謝氏（符金瑛）、范大人（王春輝）等。伝統劇に基づきながら、和親を重視するストーリーを構築する。王昭君には恋人がいる。



[1. 別親] 昭君は陶青との婚礼を待つ。だが匈奴が辺境に侵攻したため陶青は徴兵され、帰州県令は昭君を嬪妃として推挙し、昭君と陶青は別れを惜しむ。昭君は陶青に来世で夫婦になりたいと告げる。[2. 画像] 姜・李・趙が妃に封じられるため画廊に急ぐが、毛画師への賄賂が工面できず、絶望する。毛画師は昭君の美貌に驚嘆するが、賄賂を贈らないので猿猴に描き、喪夫痣を加える。[3. 驚艶] 三年後、匈奴との和親のため、中書石頭は毛延寿に美人を選ぼうと伝える。毛延寿は恐れて逃亡する。石頭が昭君に歌舞を披露させると、呼韓邪はその美貌に魅かれる。元帝は昭君を手離し難く、昭君に似た才人を選ぼうと思うが、石頭に諫められる。[4. 惜春] 昭君は元帝に賄賂を贈らなかったため醜く描かれたと告げたため、毛延寿の捕縛を命じる。昭君は国家の安寧のために喜んで和番に貢献したいと答える。元帝はその勇気を称賛し、昭君公主に封じて匈奴に嫁がせることにする。[5. 出塞]（京劇の仕草に従う）昭君は名残惜し気に宮城を去る。王龍は山が険しいので轎を馬に換えるべきだと言い、馬夫を呼ぶ。馬夫は烈馬しかいないと言い、昭君は烈馬を乗りこなして、漢嶺を越え、分関に近づくと、馬は前に進もうとせず、分関に至ってしばし留まると、南に飛ぶ雁の悲しげな声が

³ 南海網12月16日には、シンガポール海南文化学会と海南省文化芸術学校が共演した大型歴史瓊劇『王昭君』が12月14日の晩にシンガポール濱海芸術中心劇院で上演されたことを報道している。

聞こえるが、悲惨な戦争を止めるために和番は願うところであると歌う。〔6. 和親〕数月後、単于は昭君と結婚し漢の臣下となることで両国の和平が実現したことを喜び、昭君を寧胡閼氏に冊封して、その功德を讃える。

五 結論

元の馬致遠『破幽夢孤雁漢宮秋』雑劇以来、伝統劇には帝王が愛妃を守るべく匈奴と交戦するという愛国主義的な作品が主流を占めていたが、現代に至って曹禺の話劇『王昭君』（1979年）の影響を受けて、新たに王昭君が進んで匈奴に嫁ぎ戦争を回避するという民族和合の主旨を喧伝する作品が多く創作された。これは中国では現代もなお民族和合が社会問題として存在しているからに他ならない。ただ新編劇ではなお伝統劇の趣向を取り入れて創作上演されている。これは愛国主義を重視する観衆が依然として多いことを反映しているよう。なお本稿では筆者が視聴していない資料は収載していない。⁴

⁴ たとえば歌仔戲『昭君・丹青怨』十一場（2022年）。口述：廖瓊枝。編劇：蔡欣欣。監督：王友輝。戯曲監督：劉冠良。出演：薪伝歌仔戯劇団。劇場：台北国家戯劇院。人物（出演者）：王昭君（張孟逸）、漢元帝（江亭瑩）、単于（古翊汎）等。小説『双鳳奇縁伝』（1809年）を物語の基礎にしていると言う。